

カタクチイワシ(シラス)

福島県で漁獲される「シラス」は、大部分がカタクチイワシの仔魚です。



生態

- 年齢・成長：生後約20日で約15mmに成長し、シラスとして漁獲加入します。
- 成熟・産卵：成熟開始年齢は1歳（11cm以上）です。産卵期は冬季を除くほぼ周年で夏季が盛期、産卵場は沿岸～沖合の広い海域です。
- 分布・移動：資源水準の高かった1998年～2004年頃の分布域は九州～北海道の太平洋沿岸、黒潮域、黒潮続流域、黒潮親潮移行域、親潮域、沖合では東経170度付近の海域でした。資源水準の低下した近年は内湾から太平洋沿岸に分布域が縮小しています。
- 食性：動物プランクトン等を食べます。

漁獲の動向（※マイワシシラスを含む）

漁獲はすべて機船船びき網によるものです。主な漁期は7月～12月です。漁獲量は平成7年以降、増加傾向にありましたが、平成16年には41トンまで減少しました。その後回復し、平成19年に最大である2,497トンの水揚げがありました。震災後、操業自粛により平成23年から24年は水揚げがありませんでした。平成25年10月からシラス漁の試験操業が開始され、漁獲量は平成25年が13トンでした。その後、漁獲量は徐々に増加し、令和4年には667トンとなっています。

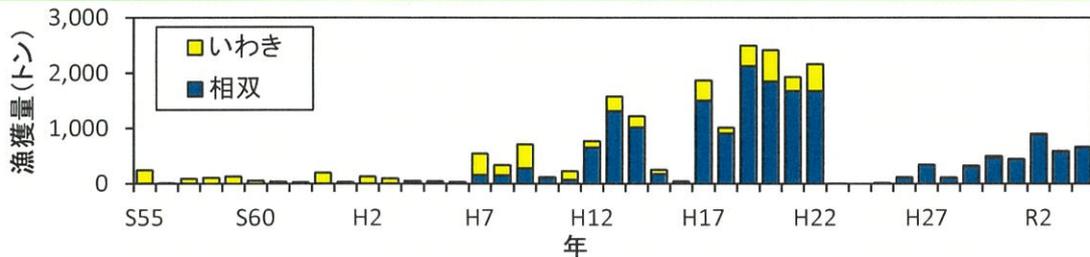


図1 シラスの漁獲量の推移

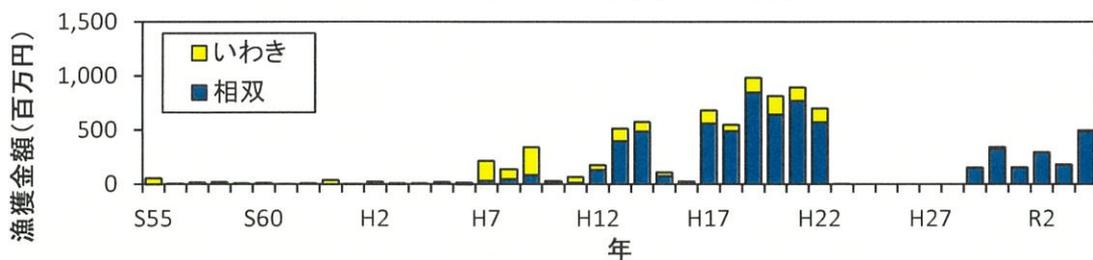


図2 シラスの漁獲金額の推移

※ H25～H28は相対取引のため、データなし

※シラスの漁獲量、漁獲金額はマイワシシラスを含む

資源の状態

○国による令和4年度の資源評価によればカタクチイワシ太平洋系群の資源水準は低位ですが、増加傾向にあります。

資源の水準：低位
資源の動向：増加

現在実施されている管理策 特にありません。

今後考えられる管理策

シラスを含むカタクチイワシについては国によるTAC管理移行が検討されています。